

森林部門技術士会第55回総会のご案内

日時 : 令和7年4月15日(火)
総会 : 14:00~15:00
特別講演 : 15:00~17:00 (2CPD)
懇親会 : 17:30~19:00

場所 : 機械振興会館(研修-2会議室 地下3階)
港区芝公園3-5-8 電話03-3432-8216(東京メトロ神谷
町駅から徒歩8分 都営地下鉄御成門駅、赤羽橋駅、大門駅か
ら徒歩10分 JR浜松町駅から徒歩15分)
<http://www.jspmi.or.jp/kaigishitsu/access.html>

連絡先 : 竹中、電話03-6206-1095
(〒100-0014 千代田区永田町2-14-2 山王グランドビル4F
日本治山治水協会事務室内)

Eメール : shin-gi@forest-pro.jp
(総会参加者は当日、受付にて年会費6,000円の納付をお願いします。)

◎特別講演について

- 1 演 題 : 「地球温暖化に伴う気候変動と 将来の土砂災害予測」
(CPD承認)
- 2 講 師 : 松浦 純生氏(京都大学名誉教授、博士(農学))
- 3 講演内容

日本は東アジアモンスーン地帯に位置するため、世界平均の約2倍に相当する年間約1,700mmもの降水量が観測される。一方、我が国は67%が斜面からなる急峻な山岳国で、山地斜面は火山性堆積物などの比較的新しい地質や変成作用を受け亀裂に富んだ脆弱な地質で構成される特徴を持つ。このため、過去から崩壊や地すべり、土石流などの土砂災害に悩ませ続けられてきた。最近では温暖化の進行に伴い、降水の強度や総量などが大きくなる極端な気象現象が頻発するとともに、これまで大雨を経験していない地域でも多量の雨が降るなど降水の分布にも変化が見られる。したがって、今後、土砂災害の種類や規模、発生する場所、さらに発生危険時期などの変化などが予想される。このような背景を踏まえ、本講演では過去の気候変動プロセスと土砂災害の関係、近年における土砂災害の特徴、さらに最新の気候変動予測データをもとに将来の土砂災害リスクについて議論し考察する。

4 定員

会場内定員 100名（申込み先着順）

オンライン定員 100名（申込み先着順）

5 CPDについて

日本技術士会CPD及びJAFEE・CPDは2CPD時間です。

（講演受講希望者は森林部門技術士会HPから申し込み願います。）

◎懇親会について

17:30～19:00（場所：機械振興会館（研修-2会議室 地下3階））

懇親会費5,000円

※出欠、委任状の提出及び参加申し込みについては、会員向けニュースメール（3月10日配信、3月15日再配信）、またはフォレストコンサル3月号（NO178号）を参照ください。